

厄よけ願って ちょうちん まつり



提灯を持ち帰れば、厄よけ、家内安全などのご利益がある伝統の祭礼「ちょうちんまつり」が洞戸通元寺の津島神社であり、見物客約500人が勇壮で威勢のよい提灯の奪い合いを繰り広げました。竹ざお約

130本の提灯に明かりがともされ、神社までの街中を幻想的に練り歩き、境内に到着すると祭りを支える住民有志が石垣の下に待ち構える群衆に向かって、掛け声とともに竹ざおを振り下ろしていました。

あんな事、こんな事

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



楽しく・真剣に防災を学ぶ

いつ起こるかわからない大地震を想定し、分団で学校への避難訓練、身の回りにあるものを活用した食事作り・就寝場所確保など、日常生活では体験できない活動に挑戦する伝統の「おもしろ体験活動」が旭ヶ丘小学校でありました。児童らは、バケツを使った消火訓練、煙道体験や吹き出し訓練などで災害時の対応方法を学び、備えを万全にしていました。

栄えある第1回環境大賞

森、川、海をつながりを考える岐阜県の「清流の国ぎふづくり県民大会」で、水環境の保全や利活用・教育に取り組む団体に贈られる「ぎふ清流環境賞」の受賞団体が表彰され、第1回大賞に瀬尻小学校（木島宏校長）が選ばれました。全国豊かな海づくり大会での精力的な活動をはじめ、長良川の環境や土壌と川をつながり、生き物のつながりなど、6年間を通した多岐にわたる環境学習が評価されました。





夏休み英語にふれよう

夏休みを利用した小中学生の英語講座が市役所であり、多くの子どもたちが楽しみながら英会話などを学びました。市英語指導助手の指導で、イラスト入りのパネルやビンゴカードを使い、さまざまなゲームなどを通して英単語を紹介。子どもたちは苦戦しながらも、積極的に大きな声で発音したり、楽しく熱心に単語を覚えていき、英語に慣れ親しんでいました。

未来の天気予報士

異常気象や災害など、市民の関心が高まっている天気について学ぶ「お天気講座」が、わかさプラザで初めて開かれました。天気に関する疑問に講師が答えたり、ゲームなどを通して楽しく天気を紹介。参加した子どもたちは、普段見ることがない雨量計を使って計測したり、雲を作る実験、温暖・寒冷前線を再現した実験などに興味津々で取り組み、天気予報や気象により関心を示していました。



気持ちが和む竹細工

林基明さん(洞戸菅谷)が、自ら制作した「トンボの竹細工」飾りを市へ寄贈しました。地域内から切り出した孟宗竹を使い、1週間ほどでトンボの夫婦6組12匹を完成させました。半年ほど前から竹細工づくりにのめり込むようになり、制作して友人に贈るなど喜ばれています。心のこもった素晴らしい作品で、今後も新たな種類の竹細工に挑戦されます。

始めます！防犯パトロール

自分たちの住む地域内の防犯パトロールなど自主的な活動をして、犯罪のない安全・安心な住みよいまちづくりを進めようと「富岡自主防犯パトの会」が設立されました。自治連支部防犯組織をさらに強化した先進的な取り組みです。青色回転灯防犯パトロール車で、小中学校周辺や公園などを巡回したり、警察や各種団体と連携して、集会でのチラシ配布などの啓発活動をしていきます。



こぼれ話



皆さん節電に取り組まれていますか？ エアコンの設定温度を上げたり、日中には照明を消したりなど多くのご家庭で節電に取り組まれていることと思います。先日、熱中症関係の取材で、武儀地域の方にインタビューしたところ、なんとエアコンを使っていない方ばかりでした！もちろん暑い日もありますが、窓から風を通し、よしず・すだれで日差しを遮ると、涼しく感じられるとのこと。比較的涼しい地域ならではだろうなあと思いましたが、旧関市地域の方に聞

いてみても、エアコンを利用されている方は意外にも少なかったのが、驚きました。(たまたまかも)

2階から1階に寝床を変えたり、ゴーヤを植えて緑のカーテンを作ったり…多くの皆さんが「生活の知恵」で暑さを避けながら電気の節約を考えていらっしゃいます。暑がりな私としては、エアコンが無い生活は想像できませんが、我が家も室温28度に設定して、節電を心掛けるようにしています。

節電を意識しすぎて熱中症などにならないように、皆さん、節電は無理のない範囲で行ってくださいね。